

学科名		学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 デジタルクリエイター科		1	J a v a s c r i p t	
授業の種類		授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☐ 演習 ☒ 実習		徳田 恭子	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]				
制作会社、フリーランス、一般企業でのWEBサイトデザイン・構築・保守業務に20年弱従事 （Dreamweaver、Fireworks、Photoshop、Illustrator使用した、HTMLサイト / Wordpressの構築） 企業のマーケティング部でウェブディレクターを4年担当 求職者訓練ウェブデザインコースインストラクター3カ月×2回担当 専門学校にてウェブデザイン講師を4年担当				
単位数（授業の回数）		時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）		60 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]				
ウェブサイトのUI・UXのデザインにおいて、ブラウザ上で動的な操作やインタラクションを実施するために、JavaScriptは非常に重要な役割を果たします。本講座では、JavaScriptによるプログラミングを学習が目的ではなく、UI・UXをよりよくするために必要なJavaScriptの基礎を学習します。				
[授業全体の内容の概要]				
・ JavaScriptの書き方や文法などの基本を学習する ・ Vanilla JSを理解する ・ ライブラリの使い方を理解する				
[授業終了時の達成課題(到達目標)]				
JavaScriptを用いて、ウェブサイトの表現力に幅を持たせることができることを目標とする				
[準備学習の具体的な内容]				
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。				
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト 1冊ですべて身につくJavaScript入門講座（SBクリエイティブ） 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1回	JavaScriptとは			
2回	Javascriptを書く時の基本ルール			
3回	カラーピッカーをつくってみよう			
4回	テキストを変更しよう			
5回	DOMを理解しよう			

6回	定数でコードをすっきりまとめよう
7回	カラーコードを表示する「きっかけ」を作ろう
8回	まとめと振り返り
9回	ページの背景色を変えてみよう
10回	条件をつけて色の名前を表示させよう
11回	イベントとは？
12回	ローディング中の画面を作ろう
13回	ボタンをクリックしてダークモードにしよう
14回	入力した文字数によって表示を変えよう
15回	まとめと振り返り
16回	チェックを入れるとボタンを押せるようにしよう
17回	ページのスクロール量を取得しよう
18回	HTMLタグを挿入しよう
19回	配列の中にある画像を表示しよう
20回	for文で画像一覧表示をしよう
21回	オブジェクトの情報を取得しよう
22回	まとめと振り返り
23回	アニメーションの基本の書き方（WebAnimationAPI）
24回	複数の画像を順番に表示しよう（すべてのクラスを取得する）
25回	スクロールとアニメーションを組み合わせよう（Intersection Observer API）
26回	スクロールとアニメーションを組み合わせよう（Intersection Observer API）
27回	webページをつくってみよう（これまでの総集編）
28回	webページをつくってみよう（これまでの総集編）
29回	webページをつくってみよう（これまでの総集編）
30回	まとめと振り返り